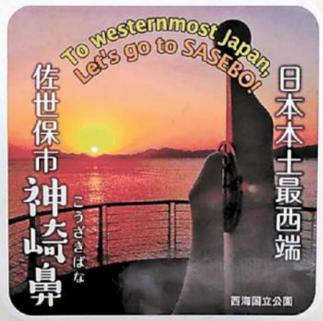


地域総合

販売中である日本本土最西端訪問記念ステッカー第2弾の夕日バージョン



佐世保市の小佐々地区自治協議会(山本敏宏会長)は、日本本土最西端の地である神崎岬(同市小佐々町)を訪れる観光客向けに作った「日本本土最西端訪問記念ステッカー」の第2弾、「夕日バージョン」を制作した。同町の小佐々地区コミュニティセンターなどで購入できる。

小佐々地区自治協
今度は夕日バージョン

大阪府から夫婦で訪れた北下憲司さん(33)は「一時的に夕日が見られなかったので、夕日のステッカーがあるのはありがたかった。記念に旅行ノートの貼ります」と笑顔で話した。(堀内優子)

神崎岬公園(同町)のモニメントの先に青々とした海が広がる第1弾のステッカーを昨年4月に販売したところ、観光客から夕日バージョンも求める声が上がった。そこで昨年の秋に企画し、今年4月に販売を開始した。縦横約10センチの正方形で、同公園にあるモニメントと共に、海に夕日が沈んでいく様子が収められている。1枚200円で、同町の九十九島波の道、おさかな広場、矢岳簡易郵便局などで販売している。

日本本土最西端訪問記念ステッカー第2弾販売

新幹線開業へ 第2回「おもてなしフォトコン」

「おもてなし Instagram 第2回フォトコンテスト～長崎県のマイナー“映え、スポット～”の入賞作品が決まった。応募作品372点の中から、佐世保市の五蔵池を撮影した「memetyon.67.pic」さんの作品がグランプリに選ばれた。



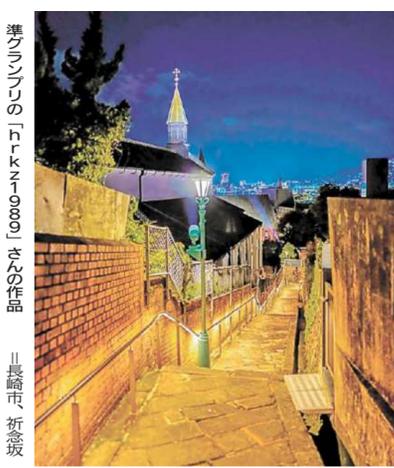
グランプリに選ばれた「memetyon.67.pic」さんの作品
＝佐世保市、五蔵池(いずれも西九州新幹線開業準備委員会提供)

9月の西九州新幹線の開業を機に本県の魅力を県外に伝えようと、県内6経済団体の青年組織による開業準備実行委員会(日高雅之会長)が企画した。今回は、地元の人には知っているがガイドブックには載っていないと思うスポットの写真を5月に募集。#おもてなし長崎フォトコン第2回」と付けて投稿してもらった。準グランプリの2点は、東彼川棚町の片島公園で満天の星空を背景に、大村湾に浮かぶ戦争遺跡を切り取った作品と、ライトアップした長崎市の祈念坂の写真が選ばれた。

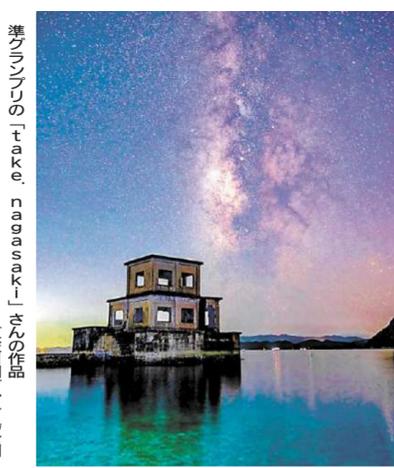
「佐世保市五蔵池」グランプリ

フォトコンテストは、8月にも実施予定。開業に合わせてインターネット上に掲載する。(北里友佳)

ガイドブック 載っていないスポット



準グランプリの「TKINOO」さんの作品



準グランプリの「Takemasaaki」さんの作品

県北部 震度6強

海上自衛隊佐世保地方隊は21日、佐世保市平瀬町の海上自衛隊地方総監部グラウンドで、災害派遣訓練を公開した。本県北部で震度6強の地震が発生し、倒壊家屋に住民が閉じ込められている想定で実施した。



倒壊家屋から負傷者を救助する訓練などを確認した訓練
＝佐世保市、海上自衛隊佐世保地方総監部グラウンド

風水害時期を迎え、大規模災害への対処能力の維持、向上を図るのが狙い。隊員約50人が参加。家屋近くに救助所を設置し、警備犬が捜索。チェーンソーなどを使って家屋から負傷者を救助し、応急処置をして病院へ搬送する手順を確認した。隊員は「頑張ってください」と負傷者に声をかけ、トランシーバーで指揮の連携を図りながら、緊迫感を持って作業を進めた。参加した佐世保警備隊陸警隊長の長渡一樹1等海尉(42)は「1分1秒を争う中で迅速、丁寧にやれるか。24時間体制の緊張感もある。訓練を通じて意識も高まっている」と話した。(荒木勝郎)

松浦市内に製造拠点がある中興化成工業(本社東京)は、社員有志が市内の二つの工場周辺や地域の海岸を清掃した。6月の「環境月間」にちなみ毎年実施している。17日の午前中は、15人が調川町の工場周辺などを清掃。近郊の浜海岸では、漁業用の発泡スチロール製のうきや流木などの打ち上げごみのほか、釣りざおやパーベキューの網など、行楽客

が捨てたとみられるごみも。集めたごみは軽トラック1台分になった。金澤知之さん(39)は「予想以上にごみが多かった。これからも地域の美化に努めたい」と話した。午後は今福町の工場周辺でも清掃した。(大島信俊)

中興化成社員が地域の海岸清掃

海岸の漂着ごみを集める中興化成工業の社員
＝松浦市調川町

正しいネットの使い方知ろう 船越小で講演

佐世保工業高等学校(佐世保高専)の学生3人が17日、佐世保市船越町の市立船越小でインターネットの正しい使い方について講演した。県警と連携しネットから児童の被害防止を目的に、同校の5、6年生に向けて開催。保護者も参加した。講演ではネットゲームの利用について、遊ぶ時間を決めるなど依存に気を付けるよう注意喚起。また交流サイト(SNS)上でのやりとりを巡り、真意が相手に伝わらないケースを紹介し「言葉は付け加えて、正しく伝えるようにしてください」と呼びかけた。スマートフォンなどのパスワードの設定方法にも言及。他人から推測されやすい言葉を使ったり、短過ぎたりする内容を送るようアドバイスを送り、保護者も熱心にメモを取りながら聞いていた。6年の秋吉梓羽さん(11)は「パスワードについてはあまり考えたことがなかった。難しく設定しておくと思う」と感想を述べた。(野崎英人)



インターネットの正しい使い方などについて講演する学生
＝佐世保市立船越小

佐世保高専の学生3人

西海市民でつくる防犯ボランティア(NTA)団体「西海自警(永田浦昭代表)と西海地区少年補導員連絡協議会(山下和幸会長)は16日、同市西彼町の商業施設駐車場で、二七電話詐欺根絶や少年非行防止を呼びかける街頭活動をした。犯罪のない明るい社会づくりへ機運を高めようと初めて実施。両団体のメンバーや西海署の原野清志署長



詐欺根絶呼びかけ
ら20人が、防犯グッズや啓発チラシが入った袋を買い物客らに手渡した。永田代表は「住民への周知は大切。犯罪のないまちにつながる」と話した。(織田賢)



長崎新聞公式アカウント開設
LINE

お友だち紹介キャンペーン

期間 2022.9.30(金)まで

12カ月以上購読いただける方を紹介すると

紹介したあなたには
3,000円分のJCBギフトカード



紹介されたお友だちには
1,000円分のJCBギフトカード

もれなくプレゼント!!

皆さんの周りに
長崎新聞のご購読を検討されている方
はいませんか?

購読者の条件 県内在住で、2022年10月1日までに新規購読開始できる方(但し、購読契約期間が12カ月以上に限りません)

WEB(パソコン、スマートフォン)、フリーダイヤルでお申し込みいただけます。

WEB www.nagasaki-np.co.jp

フリーダイヤル 0120-374673 (平日・午前10時～午後6時) ※番号をお間違えないようお願いいたします

- 紹介することの了解を、被紹介者から得てください。
- 現在、長崎新聞を購読されている方、または購読予約をされている方を紹介することはできません。
- キャンペーン期間中に契約中止された方は対象外とさせていただきます。
- 土・日・祝日のお申し込みは、休み明けの対応となります。配達開始希望日から遅れることがあります。
- ご本人、同居家族は紹介の対象外です。別世帯であれば対象となります。
- お一人様何人でも紹介できますが、被紹介者が重複した場合は最初のお申し込みを優先します。
- プレゼントは、お申し込みから1ヵ月半後を目安に、最寄りの販売センターからお届けします。

【個人情報の取り扱いについて】
お申し込みいただきました個人情報は、長崎新聞社および長崎新聞販売センターで適切に管理し、新聞配達、各種ご連絡、ご案内に利用させていただきます。

お問い合わせ
長崎新聞社販売局 TEL.095-844-5182
(平日・午前10時～午後6時)